

平成27年12月10日

人権集会②講評

鷹取さんの素晴らしいまとめの後は、お話がしにくいのですが、ぜひ、伝えたいことがあるので、お話をします。

今週、全学年がミツツィ先生の「国際理解講座」を聞きました。不勉強な私は、ミツツィ先生のお話を聞くまでジャマイカの独立が1962年だったこと、ジャマイカの人々が、それまでとても辛い時代を送っていたことを全く知りませんでした。

実は、日本も似たようなもので、今年が戦後70年ですが、戦前、戦争中、そして戦後間もなくの間、女性や子供の権利は大きく制限され、言いたいことは自由に言えず、お金がないという理由だけで軽く扱われる、そんな時代でした。

今のように人権が大切にされ、自由に暮らせるようになったのは、最近のことと言ってもよいぐらいです。「昔は良かった。」という言葉が聞かれますが、私はそう思いません。時代は確実に前に進んでいます。いろいろなことが以前よりも良くなり、生活しやすい日本になっています。

しかし、世界には未だ人権が大切にされていない国があります。女性というだけで中学校にも行けず、行ったことで銃撃される国も残っています。昨年、ノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさんの国はそうですね。

ですから、これからの時代を担っていくみなさんには、ますます素晴らしい世界を、素晴らしい日本を創ってほしいと願っています。そして、まずは素晴らしい伊里中学校を創ってほしいと願っています。

委員会や3年生の発表、見事でした。各学級の発表、7月よりも大きく進歩していました。今日もとても素敵な時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。